

名古屋大学基金について

国立大学法人東海国立大学機構 機構長補佐

名古屋大学 副総長

Development Office 室長 木村 彰吾



1. 名古屋大学基金の振り返り
2. 名古屋大学基金のファンドレイジング体制
3. 現在のファンドレイジング戦略

基金による事業

次の事業に積極的に取り組みます。

教育・研究環境整備事業

- 教育・研究に対する助成
(萌芽的な研究を含む)
- キャンパス・施設・環境整備

学生育英事業

- 優秀な学生への奨学金の充実
- 勉学環境の充実

国際交流事業

- 外国の大学との教育・研究協力・
交流の支援
- 留学生の支援
- 名古屋大学海外事務所等の支援

その他事業

- 産学連携支援
- 社会貢献活動の支援

名古屋大学基金へのご寄附のお願い

名古屋大学は、1939年名古屋帝国大学として設立後、2009年5月1日で創立70周年を迎えます。この間、皆様の温かいご支援のもと、弛みない発展を遂げた名古屋大学は、9学部、13研究科、3研究所、19センター等を有する総合大学となりました。

この間、2004年の国立大学の法人化は、大学に自由度をもたらしましたが、一方で自主財源の確保も求められています。名古屋大学では、本学の良き伝統を守りつつ、さらに活性化させ、生き生きとした教育・研究環境を作り、21世紀の社会を支える「勇気ある知識人」を輩出するための基盤整備として、「名古屋大学基金」を創設しました。

「名古屋大学基金」の趣旨をご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

名古屋大学総長 平野 眞一

「基金」とは？

「名古屋大学基金」は、従来の周年事業等で寄附金を建物の建築等で費消してしまうというのではなく、いただいた寄附金を基金として積立て、その運用益で各種の事業を展開するものです。

この基金の原資を将来にわたって確実に拡大し、財務の大きな柱の一つとなるよう努めていきます。

「基金」の目標額

目標額 200億円

有価証券等、土地、建築建物のご寄附も受付けております。

名古屋大学では、この基金を運用して、その運用益で各種の事業を行うこととしておりますが、どの事業から取り組むについても、最低でも2~3億円は必要と判断しました。現下の超低金利時代にあつてこの運用益を得るためには、200億円が必要となると考えたものであります。

募集期間

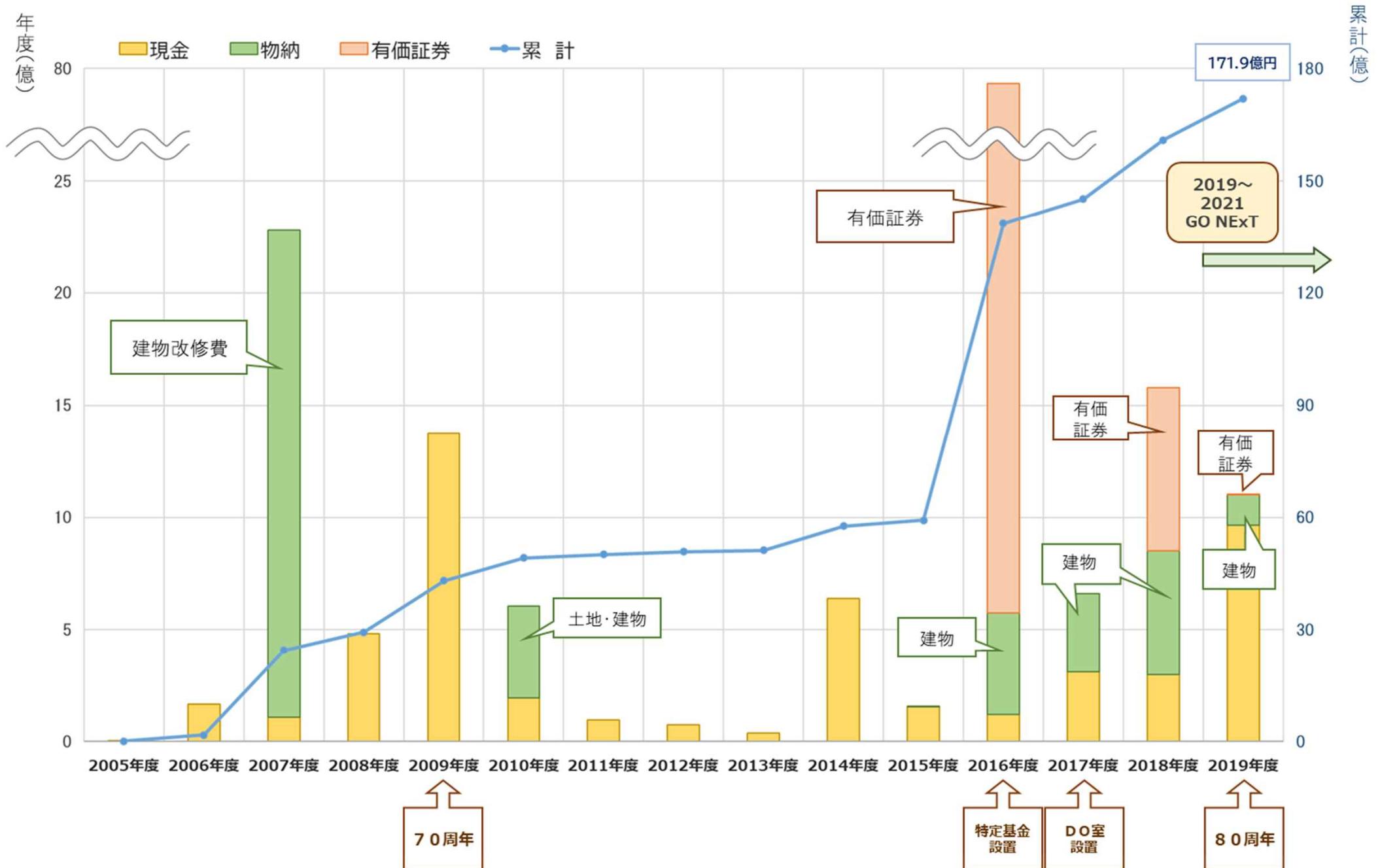
この基金は恒久的なものであるため募集期間を限定するものではありません。しかしながら、創立70周年記念事業の一環として創設されたものであることから、70周年を迎える2009年を第1期の募集期間とし、その後、後も継続して募金活動を行っていくことになります。

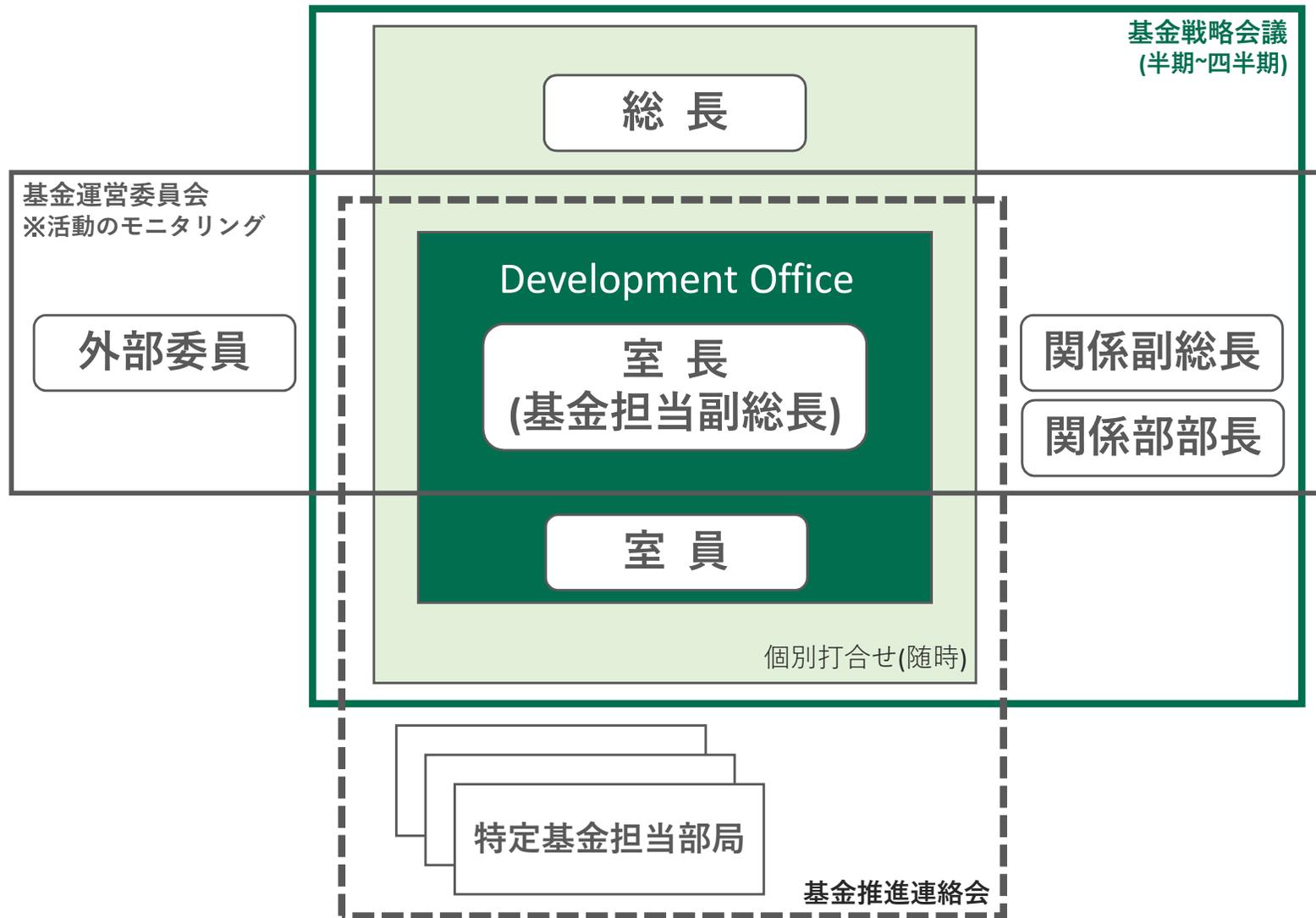
基金設立から現在までの変遷

2009年に創立70周年を迎えるに機会を捉え、2006年3月に名古屋大学基金を設立した。本学の良き伝統を守りつつ、さらに活性化させ、生き生きとした教育・研究環境を作り、21世紀の社会を支える「勇気ある知識人」を輩出するための安定した基盤整備のため。集めた基金を使うことなく、ファンドとしてその運用益を大学の各種事業を展開する。

年度等	事 項	担当部署
2006年3月	名古屋大学基金の設置(目標額200億円)	総務部総務課
2007年度		総務部秘書課
2009年度	創立70周年	
2010年度		総務部総務課
2011年度	創基140周年	
2014年度		総務部広報渉外課
2016年度	目的指定の特定基金設置	
2017年8月	Development Officeの設置	Development Office
2019年度	創立80周年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> GO NExT </div>
2021年度	創基150周年	

名古屋大学基金 寄附受入実績

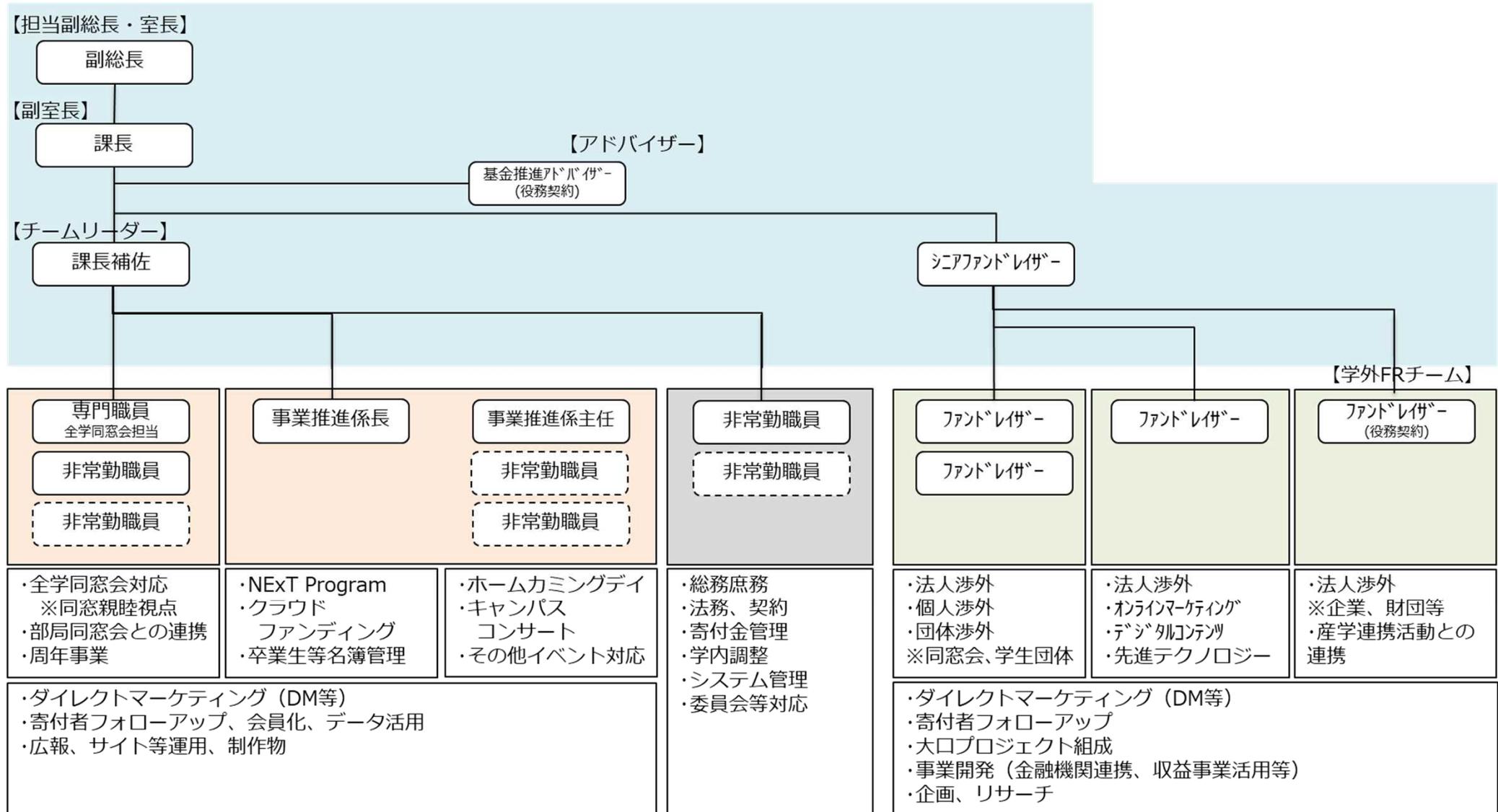




名古屋大学基金の募金活動の一層の強化を図るため、またファンドレイジングは総長の重要な職務であると位置づけ、2017年8月に総長直轄の組織として、Development Officeを設置。

Development Office 業務内容・体制

2020.4.1





基金運営委員会

メンバー：外部委員3名、副総長から3名、部局長等から6名
管理部長、財務監

[審議事項]

- ①基金の予算，決算及び事業計画に関すること
- ②基金の受入れに関する審査及び決定に関すること
- ③寄附者への謝意表明に関すること
- ④資金運用に関すること
- ⑤基金の管理運用に関すること

基金戦略会議

メンバー：総長、副総長から7名、DO室2名

[審議事項]

- ①募金活動に関すること
- ②寄附者との関係維持に関すること
- ③ステークホルダーに対する寄附戦略に関すること
- ④名古屋大学における基金活動の推進に関すること

基金推進連絡会の設置

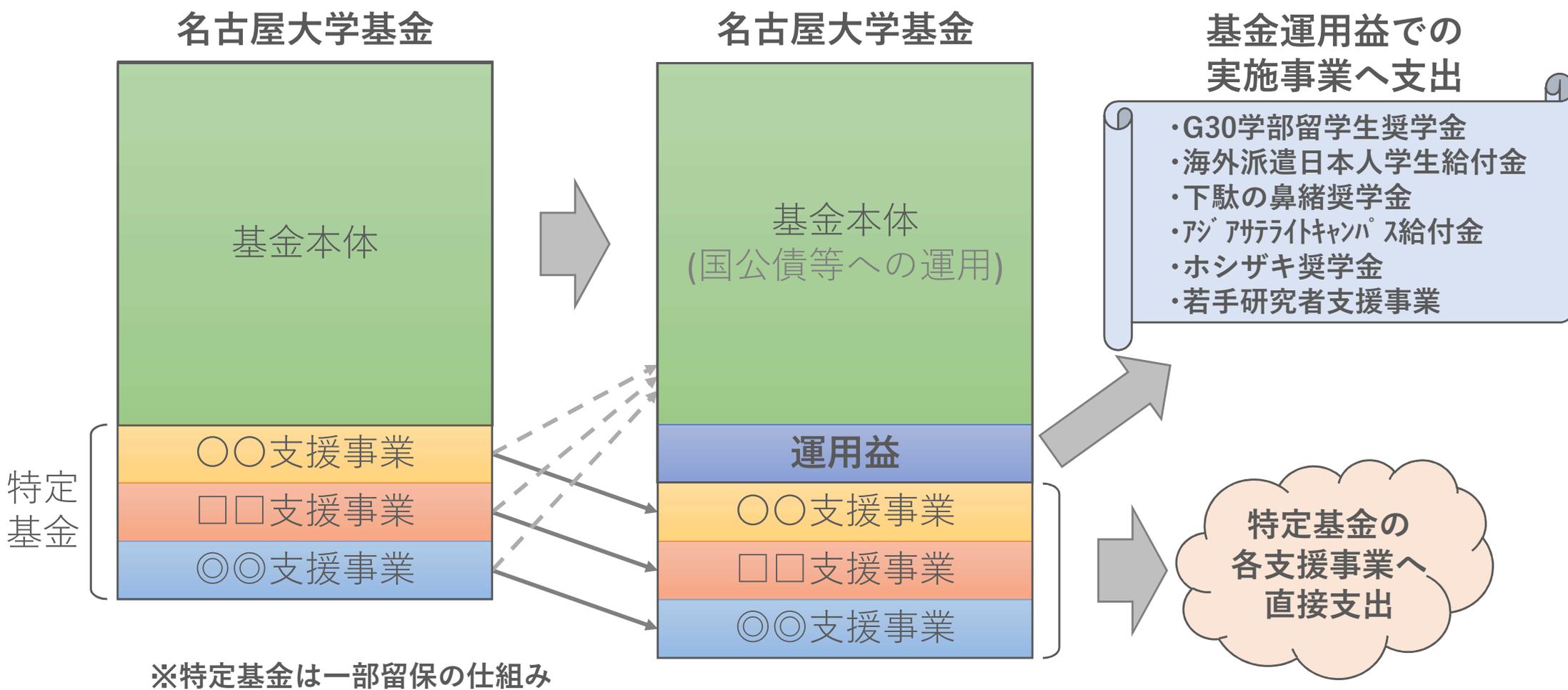
基金推進連絡会

メンバー：基金担当副総長、DO室、
特定基金設置部局責任者、同担当者

[連絡会における情報共有]

- ①基金本体の受入状況に関する事
- ②特定基金の受入状況に関する事
- ③特定基金のファンドレイジングに関する事
- ④その他

基金本体・・・ファンドとしてその運用益で各種事業を実施するもの
 特定基金・・・目的を指定して各種事業へ寄附の一部を使って実施するもの



GO NExT (Next Education across Tokai Area)

名古屋大学基金 募金キャンペーン

・キャンペーン期間:2019年4月～2022年3月(3年間)

・基金累計目標額:200億円

2019年 創立80周年 (1939年 名古屋帝大)

2020年 東海国立大学機構 設立

2021年 創基150周年 (1871年 仮医学校・病院)

GO NExT で加速すること

- ①教育改革と学生支援 次世代を創り出すリーダーの育成
- ②基礎研究の支援 次のノーベル賞受賞者
- ③産学共創の推進 学術成果の実世界への展開
- ④マルチキャンパスの整備
- ⑤その他

ファンドレイザーチームが主体となり、 企業へのファンドレイジングを実施

- ①対象とする企業をリストアップ
(寄附実績企業、関係のある企業を随時リストアップ)
- ②企業あてDMの発送
- ③企業へのアポ取り
- ④企業訪問 (基金の紹介)
- ⑤本学へのご寄附
- ⑥企業への御礼
- ⑦その後のコミュニケーション
※学内関係部署との連携協力が重要

Development Officeの個人寄附募集戦略に基づき、ファンドレイジングを実施

[卒業生等向け]

- 名古屋大学の情報発信にて名大基金を案内(年1回郵送)
- 全学同窓会各支部総会にて名大基金を案内

[在学生向け]

- 各種イベント(キャンパスコンサート、名大レクチャー)時に名大基金を案内

[在学生保護者向け]

- 入学式記念募金キャンペーン
- 入学式時の各種特定基金からのアプローチ

[一般向け]

- 名古屋大学基金ホームページのリニューアル
- リユース(古本募金を含む)の実施

個人向けファンドレイジング(リユース募金)

※2020.6.30から開始

名大応援エコギフト
Eco Gift for Nagoya University

お問い合わせはこちら
0120-056-887
受付時間：11:00～17:00 定休日：土日祝

TOP

名大応援エコギフトとは

寄附できるアイテム

お申し込み

よくある質問

ご自宅にある使わなくなった物で
名古屋大学に寄附ができます。

名大応援エコギフトとは

名大応援エコギフトとは、身の回りの使わなくなった物で、
名古屋大学に寄附ができるプロジェクトです。

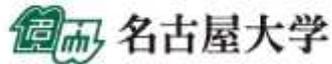
ご寄附いただいた物は、名古屋大学が提携する会社（買取王国）で査定され、
その査定額に買取王国から100円が上乗せされ、
名古屋大学へと寄附されます。

名大応援エコギフトのメリット



[寄附を申し込む▶](#)

同窓生等名大関係者への寄附呼びかけ（メールマガジン、ホームカミングデイ）



名古屋大学メールマガジンVol.89



国立大学法人東海国立大学機構の新型コロナウイルス感染症緊急対策プロジェクトとして、保護者等の家計急変や学生のアルバイト収入減など、経済的に困窮している学生を支援するため、生活支援金の支給及び授業料の納付の延期を実施することとし、申請受付を開始しております。

http://www.nagoya-u.ac.jp/info/20200428_jimu.html

メールマガジンの配信

本学のトピックスを集約し
月1回メール配信

配信先：卒業生名簿システム登録者

ホームカミングデイの開催

本学の今を知っていただくイベントとして、毎年10月第3土曜日に開催

対象：卒業生、在学生、保護者、一般

NAGOYA UNIVERSITY HOMECOMING DAY 2019
 第15回 名古屋大学ホームカミングデイ
 2019年10月19日(土) AM10:00～ メインテーマ「社会の中の大学」
 予約不要・入場無料
 障害等のある方で、配慮が必要な方は、9月27日(金)までにご相談ください。
 お問い合わせ 名古屋大学障害者支援室 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
 Tel: 052-747-6963 (平日9:00~17:00) e-mail: nudso@adm.nagoya-u.ac.jp
 メイン企画 名古屋大学の集い 事前申込必要
 特別企画 未来社会を拓く科学：宇宙へ、そして地球へ

最後に

Begging money is not shame